

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	
052035_横手市	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	学校が抱える課題や地域と連携・協働して解決に取り組むべき課題について、どのようにアクションをおこしていけばよいイメージできない。	教職員や地域コーディネーター、地区交流センター長、学校運営協議会委員を対象とした市独自のCS研修会を開催し、参考となる取組事例の共有や意見交換を行う。	課題解決に向けた取組についてイメージすることができる。	学校運営協議会における課題解決に向けた取組の実施件数	5	回	8	14	4	コミュニティ・スクール導入2年目となり、学校と学校運営協議会委員の双方向の意見交換ができるようになってきている。また、研修会を開催し、各校の取り組みを共有することで、取り組み内容に新たな視点が加わっている。
052035_横手市	②学校と地域の課題	その他	地域住民へのコミュニティ・スクールの周知が不足している。	地区交流センターと連携しセンター報等で周知するほか、地域住民が集まる場所(地区交流センター等)において学校運営協議会を公開実施する。	地域住民がコミュニティ・スクールの取組を知っている。	市独自のCS評価書の項目5「コミュニティ・スクールに関する情報発信について」の各校の平均値	2.1		2.5	2.7	4	学校、地域が発行する広報紙などを活用し、コミュニティ・スクールの周知したほか、地域住民が集まる機会を企画して学校運営協議会を併催するなどして住民への周知を図った。今後はコミュニティ・スクールのしくみにとどまらず、取り組みそのものを知ってもらうため、学校(児童生徒)と地域のつながりを生み、さらに深める活動を実施したい。